



# 安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校  
学校便り No. 9  
令和 7 年 6 月 10 日  
文責：校長 齋藤 和彦

## ◆校長室より◆ “登校がづらい..状態”

～自分と戦っている子..と、お母さんへ～

「不登校」などと..一言くくりで語るができない“登校がづらい..状態”があります。日々、これと戦っている子がいます。

また、「どうして?」「どうしたらいいの?」「私の育て方のせい?」などと、日々..悩み、心配し、不安になり、明日の朝が来るのがつらい..苦しい..お母さん(お父さん)がいます。

“登校がづらい子”は、全国的にも、本市でも年々増加傾向にあります。その理由(要因)はそれぞれ多種多様にあります。

安積二小は、そのような子にも“行ってみようかな..と思える居場所”をできる限り用意したいと思っています。～通級教室、保健室、校長室、職員室になら..行けるかも?【本人が行けそうな場があるなら..全てOKです】

次の行動に向かう気力を蓄えるための充電場所として、保健室で心を準備したり..校長室でお話をして教室に向かう子..職員室のテーブルでなら自学に集中できる子もいます。

【どれも本人のがんばっている姿です】

担任の先生もアンテナを高くして、学級学年の子どもの心 SOS を察知しようとしています。

それでも、新しいページをめくるようには、『登校がづらい..悩み』は、簡単には解消しません。「何が心配なの?(嫌なの?)」と子どもに聞けば、学校のこと/勉強のこと/友だちのこと/先生のこと..と、子どもも必至で何かしら理由を探します。学校に行きたくないのだから、学校のことの原因を求めて考えるからです。(親さんも同様に)

子どもが口にした、その..学校の要因を解消しても、なかなか“登校つらい”状態は改善されない場合があります。(多いのです)

なぜでしょう?

子ども本人も、“登校つらい”その理由がよくわからない場合があるからです。まして、その状態や心情を言葉にするなんてことは、心療内科の医師が使うような用語ででもない表現できない場合が多くあるからです。～なぜだかわからない。すり傷の治癒を待つように時間が解決してくれるわけでもありません。親ならば、誰もが焦ります。当然です。つらいです。心配ですよ。(分かります)

そのような親さんが特に大変だったこととして、『相談できる人がいなかったこと』という話がありました。学校が(校長が/担任が)そのような存在や場所になっていなかったことを申し訳なく思います。

先日、ある子と“どろだんご”作りをしました。～泥団子は、毎日せっせとお世話して..サラサラの砂をかけて磨き続けます。間を空けると、びっくりレベルの仕上がりにはありません。～この子のアイデアで、ふるいにかけた特別な砂と粘り気のある砂をブレンドして、すぐには割れない団子にしました。

「明日も学校に来てくれるかな?」「学校に来る目的..楽しみのひとつになれたらいいな」こんな期待と、学校に足を向けようとする心をちょっとでも応援できれば..と。

..... 「よく来たね!待ってたよ!」

久しぶりに学校に来て、校長室の秘密の棚に隠した(保管)..ビニールラップした泥団子を出してみると..、あちこちから細い芽が出ていました。(二人で笑っちゃいました)

毎日お世話できなかつたからだね。でも、何度でもやり直しできます。何度でもです。～学校は、どこからでも、いつからでも、もちろん、何度でも..始めることができます。

迎えに来たお母さんとお話ししました。「よかった。お母さんも大変だろうけれど、ありがとうございます!」という気持ちで、その子の頭をぐりぐりなでました。

“勉強は遅れないか”“これからどうなるか”心配は多いと思いますが、最も大切なことは、『健康で元気であること』と私は思いました。ほとんどのお母さんは、こう言います。

「～すみません。ご迷惑をおかけして..」

また、こんなことを考えてはいませんか? 「学校を休んでるのに楽しんではいけない。」「子どもが不登校だから..自分も幸せになってはいけない。」などと..(苦しすぎます)

そんな心配や遠慮は、まったく無用です。何よりも、“子どもが健康で元気”であればチャンスはいくらでも巡ってきます。だから、その日まで、お母さんも“健康で元気に明るく”いてほしい。そして、子どもにもその明るさを注ぎ続けてあげてほしいと願います。

..こんなことを語っている私も、幼稚園の時は、姉の教室(はと組)の軒下で、先生や姉や親を困らせていたみたい..です。

～そんな子も、今、こうして..先生をやってるんです。(笑)

学校では、できる限りの居場所を【可】にしたいと思っています。



## ◆◆ 書籍紹介です ◆◆

◇ 追いつめられていた心が、少しだけ軽くなるかもしれない..不登校題材の作品(まんが)

- ・「子どもが不登校になったので、いろんな人に頼ってみた」
- ・作者：川口 真目(かわぐち まさみ)
- ・オンライン上で読める電子書籍(まんが)